

高尾山山頂から発信！

のぶすま

「のぶすま」とはムササビの古い呼び名です。



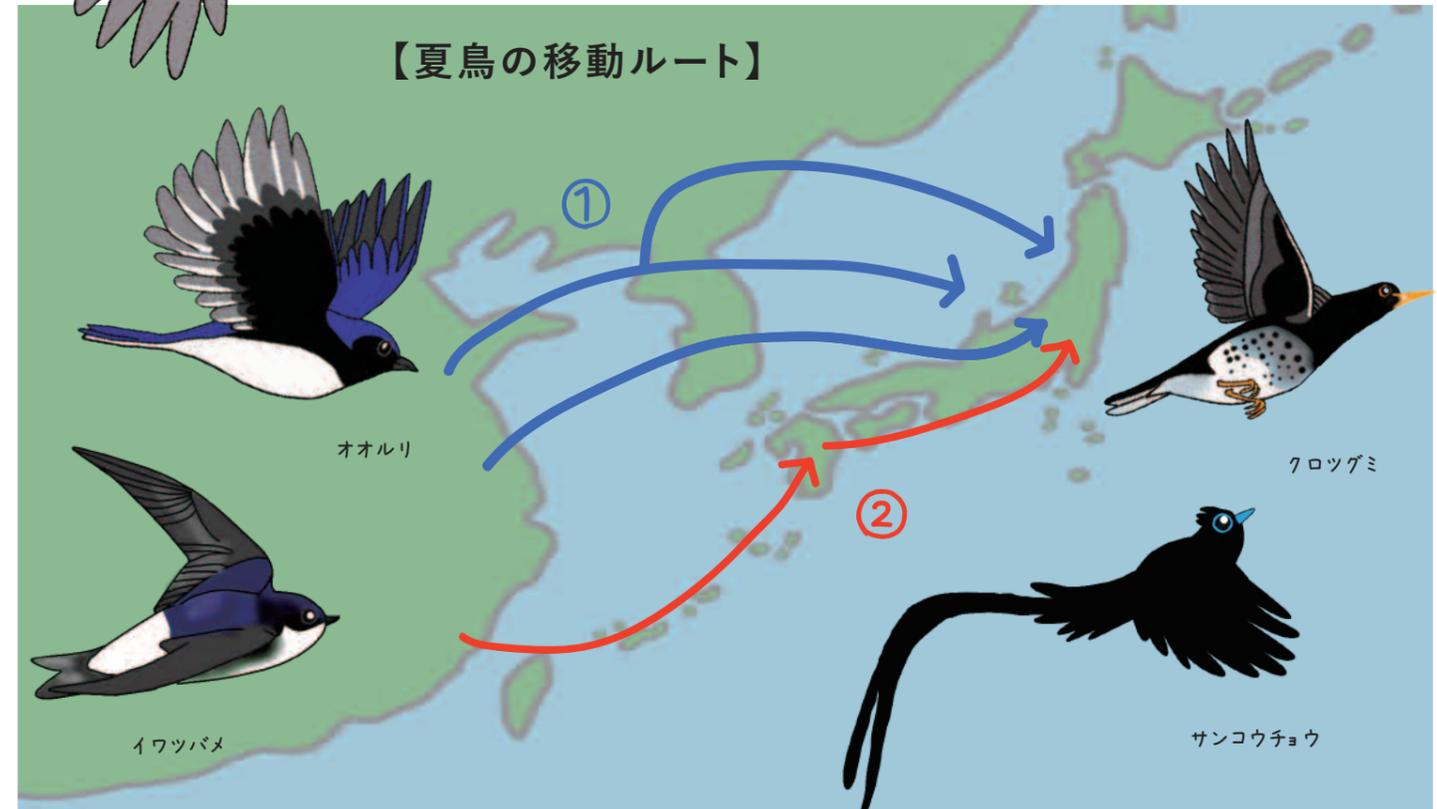
vol.64 季刊
2021年夏号

夏鳥たちの渡りに迫る！

みなさんの家のまわりに、ある季節だけよく見る野鳥はいませんか？身近な鳥の中だと、ツバメがイメージしやすいかと思います。ツバメのように、春～夏を日本で過ごし、子育てをする渡り鳥を「夏鳥」と言います。夏鳥たちはフィリピンなどの東南アジアや中国、韓国から日本へやってきます。本号では、夏鳥の飛行ルートや高尾山で夏を過ごす理由に迫ります。



キビタキ



①日本海離島ルート

大陸沿いに進んできた夏鳥たちは、日本海の離島で休みながらやってきます。強い向かい風が吹いている時はしばらく島で休むことも多いようです。

②九州近辺・中国東部ルート

中国大陸から広い東シナ海を越えるロングコース。4月中旬のトカラ列島は、島全体がキビタキ・オオルリだらけになることも！

渡り鳥は、日照時間や気温の変化を感じ取り、ある季節に渡りをするよう遺伝子に組み込まれています。太陽、星、地磁気などを使って移動しているようですが、毎年同じ目的地にたどり着く仕組みは、未だ多くの謎に包まれているのです。



のぶすまくん

Twitterでふりかえる高尾山ニュース！

高尾ビジターセンターのTwitter・Facebookをチェックしていただいているみなさま、いつもご覧いただきありがとうございます！山頂の気温や天気、旬な自然情報などを毎日発信しています。2021年4月～6月の間のツイートから、注目のニュースをご紹介します。



～ビジターセンターの巣箱より～

13日にヒナたちは無事に巣立っていきました。孵化から18日目でした。

動画は前日(12日)のヒナたちの様子です。今ごろ高尾山の空を元気に飛んでいるんでしょうね。またね～！

#高尾ビジターセンター #シジュウカラ

長引くコロナ禍での臨時休館中、ビジターセンターの外に設置している巣箱にシジュウカラが営巣しました！4月23日の産卵から5月13日の巣立ちまで、ドキドキとモニターをチェックするスタッフ一同でした。8個あった卵が無事孵り、8羽元気に巣立ちました！すごい！Twitterにコメント頂いた皆様ありがとうございました！

解説員 いらむ vol.26

雨の高尾山

雨の日ほどよりしていて憂鬱な気分になる方が多いのではないのでしょうか。私もその1人でした。しかし、高尾山山頂のある生き物との出会いによって、私の雨の日の概念が変わりました。その出会いは私の高尾ビジターセンターの初出勤日にありました。

この日は1日中雨だったため、景色も生き物もあり見られないだろうとしょんぼりした気持ちで下を向いて3号路を歩いていました。人がなくポツポツと木の葉にあたる雨音のみが静かに響き渡る中、突如ガリガリガリッと大きな音が雨音に混ざって聞こえてきました。「何の音？どこから？」とあまりにも突然のことだったので顔を上げて周りをキョロキョロしました。音のする方を見てみると、木の枝にモサモサな小さな生き物が。その音の正体は木の実に夢中に食べているニホンリスでした。小さい手で一生懸命木の実を食べている姿があまりにも可愛くて、雨のことを忘れて観察をしていました。ふとそのまま視線を上げると、雨により緑がさらに濃く鮮やかに、霧が木々を覆い幻想的な雰囲気を漂わせていました。見慣れていた高尾山の風景がガラッと変わり、私の目の前には別世界の光景が広がっていたのです。

このニホンリスとの出会いによって雨の日に出会えない高尾山の表情を見ることができ、高尾山は雨の日でもまた違う楽しみ方があることに気付かされました。この体験を通して高尾山の美しさを更に引き立てる雨の日が今では大好きです。

季刊高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」2021年夏号vol.64

東京都高尾ビジターセンター自然解説員作成 2021年7月1日発行

所在地：〒193-0844東京都八王子市高尾町2176 電話：042-664-7872 FAX：042-662-9926

(公式ホームページでバックナンバーが閲覧できます <https://www.ces-net.jp/takaovc/>)

たかおさん

「夏鳥戦隊!？」の巻



夏鳥戦隊ブルー「オオルリ」
樹の頂点でさえもさえずるぜ！



夏鳥戦隊イエロー「キビタキ」
鳴きまねが得意だぜ！



夏鳥戦隊ブラック「クロツグミ」
今日も地上で餌探し！



夏鳥戦隊レッドこと「アカショウビン」
やっぱレッドがいなくて何か締まらないな

※高尾山では昔と比べてアカショウビンを見る機会が少なくなりました。見られたらラッキー！

作・絵：なかの

「のぶすま」最新号とバックナンバーを、高尾山山頂にある高尾ビジターセンターにて配布しております。ご希望の方はビジターセンター窓口までお越し下さい。

解説員 うすい

最近〇〇が増えている!?～高尾山の夏鳥データ～

高尾山には、15種類の夏鳥が飛来します(日本野鳥の会記録)
なかでも山内で見つけやすい夏鳥はキビタキです。
2020年度の解説員の登山道調査で確認した回数は、なんと83回と
最も多い結果となりました!

なぜキビタキが多いのか?その理由の一つとして、キビタキが巣作りする環境が挙げられます。キビタキは巣に「半開放性樹洞」を利用します。半開放性樹洞とは、枯れ木にできることが多い入口の大きな樹洞のことです。

古くから森林が守られてきた高尾山には、半開放性樹洞ができやすい大きな木がたくさんあります。そのおかげで、多くのキビタキたちが高尾山へやってくるのかもしれないね。

キビタキ	83
ヤブサメ	50
オオルリ	23
ホトトギス	14
クログツミ	10
サンコウチョウ	8
ツツドリ	6
センダイムシクイ	2
ツバメ	2
アカショウビン	1
イワツバメ	1



高尾山の小学校

高尾山の山内に小学校があったことを知っていますか?
正式には「浅川小学校高尾山分教場」といい、山に住む子供たちのための、小規模な学校があったのです。

高尾山の歴史について調べていると、大正14年に発行された「高尾山名所案内図」の中腹に「高尾小学校」「図書館」と書かれた場所を見つけました。現在の薬王院宿坊付近です。山の中に小学校と図書館なんて、生活感があふれていて面白いなあと思いついてみたところ、小学校は、大正9年に境内の子弟教育のために設立された浅川小学校の分教場でした。生徒は10〜13人だったそうです。高尾登山電鉄が出来たことで麓の学校に通学できるようになり、大正15年に廃校しています。6年の短い期間だけ存在した、知る人ぞ知る幻の高尾山小学校でした。

「高尾山懐古」という本にも、分教場に関する記述を発見しました。著者の佐藤愛之助氏は、現在高尾病院のある場所で営業していた佐藤旅館(二軒茶屋の一つ)の四男です。明記されてはいませんが、愛之助氏が明治36年生まれということと他の記録から、高尾山内ではなく、現在の高尾駐在所近くにあった「浅川小学校案内分教場」ではないかと想像しています。

『新学期、二、三キロある分校場に通う。(中略)分校場は森の中にあった。休み時間は、木登りしたり、そばの小川で魚とりをする。先生は一人。男女共学、全体で四十人くらいだったろう。複式というのか、一、二年は一クラス、三、四年が一クラス、

先生は二つの教室をかわるがわるまわって教える。田舎の子は、家事の手伝いに忙しいのか学課が終わると走るように散っていく。私は兄か妹と手をつないで帰る。もつとも途中、つばなをつんだり、いたどりをかんでみたり帰るとふろしき包みをほうりだして、兄や妹と野をかけまわる。(いごりの詩 四月より引用)』

山内の分教場に通っていた人の記録があれば面白いなあと思いますが、残念ながら見つかりません。それでも、麓の分教場に通う子供たちの姿や、麓に下りず山内で勉強していた子供たちの姿を想像するのはとても面白いです。

現在の高尾山も、子供の姿がたくさん見られます。初めての山登りや身近な環境教育の場所として、遠足などで大人気な山となっているからです。そういう意味では、高尾山は山全体がある意味学校なのではないでしょうか。高尾山の自然が生活と結びついていた当時の子供とはかたちが異なりますが、今も昔も高尾山の自然に親しみ、外遊びを楽しめる風景を思うと嬉しくなります。新型コロナウィルスの影響で気軽に外出できない昨今ですが、はやく収束し、また多くの子供たちが楽しんで高尾山で遊び、学べる日が来ることを願っています。

参考文献：浅川小学校百年の歩み
高尾山懐古/佐藤愛之助・富士達著

〈解説員 やまもと〉

夏鳥たちによる高尾山のオススメポイント♪



この夏もいい感じ～



食べ物になる虫がとっても多いの!

オオルリ♀



【高尾山の昆虫が多い理由は?】

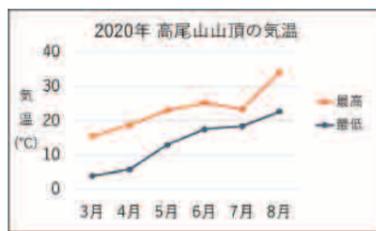
・昆虫の食べ物となる植物の種類が非常に多いから!

植物の数は1300種類以上もあります。しかも春～夏は、昆虫の発生時期と重なるため、昆虫の数も一気に増えるのです!



ボクらにジャストな気温が最高!

キビタキ♂



【高尾山の気温って?】

・ちょうどいい気温を保っている!

上のグラフには、昨年3月～8月の最低・最高気温をまとめています。多くの野鳥たちがヒナを育てる4～6月の最高気温は18℃以上。さらに巣立ちヒナが増える6月以降はぐっと暖かくなるので、成長にもピッタリなのです♪



隠れ場所が多い最高の山!

サンコウチョウ♂



【隠れるのに最適な場所は?】

・植物が生い茂るやぶ
・高い木の上

天敵から目につきにくい環境は巣やねぐらにピッタリ! 山内のあちこちで、ひっそり身を隠しているのです。

〈解説員 かわたま〉

【参考文献】
・BIRDER 2020年3月号、4月号、9月号 ・BIRDER SPECIAL 日本の渡り鳥観察ガイド(2019年) ・バードリサーチニュース2015年6月[生態図鑑] など

〈解説員 おざき〉

花期：7、8月
見られる場所：1、5、6号路、稲荷山コース

夏、登山道を歩いていると、芳香剤に似た香りがしてきます。八王子市の花として指定されているヤマユリです。程よく匂うくらいなら良いのですが、近くで嗅ぐと、強烈な甘い香りに酔ってしまうかもしれません。



花の直径は22～24cm程になる

山地に生えるユリから名付けられた

ヤマユリ

登山道に漂う魅惑的な香り



vol.22

解説員の